

経営比較分析表

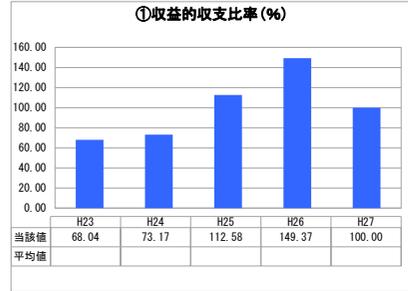
高知県 土佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	13.25	100.00	2,762

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,084	212.13	19.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
538	210.74	2.55

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



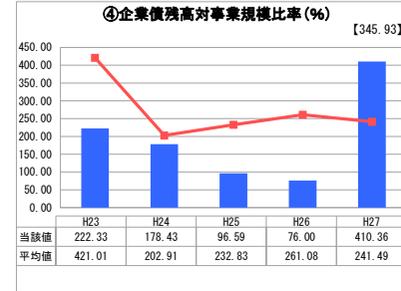
「単年度の収支」



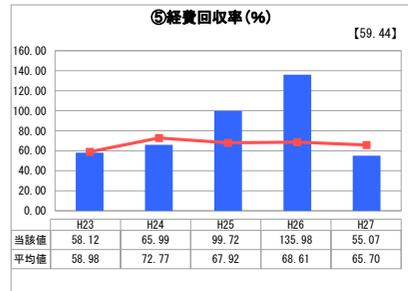
「累積欠損」



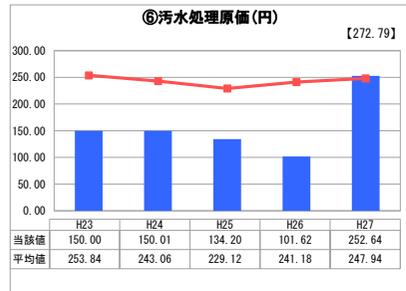
「支払能力」



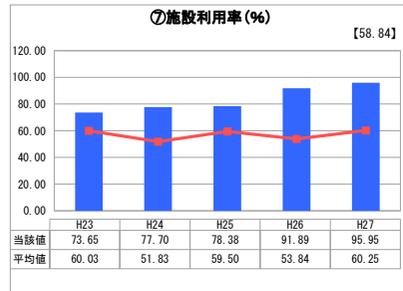
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

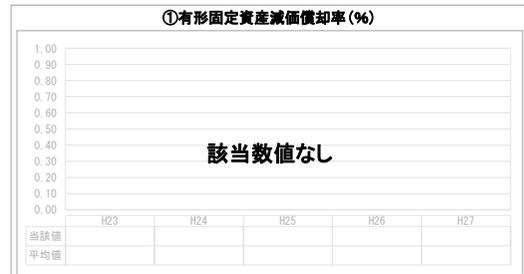


「施設の効率性」

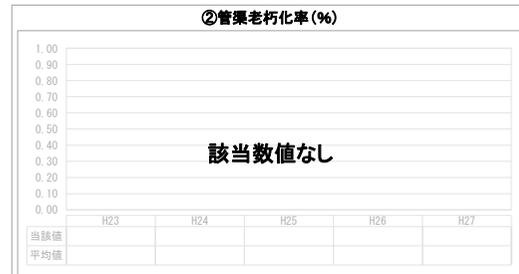


「使用料対象の捕捉」

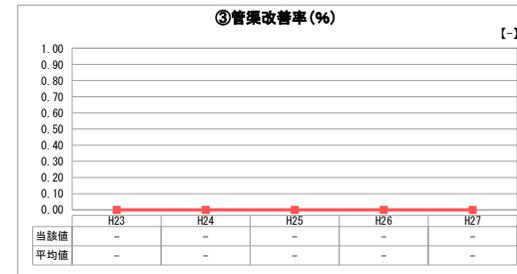
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」は、前年から大きく減少し、一般会計繰入金が増加した。この背景には、H27年に委託費の計上見直しを行ったことがある。

「④企業債残高対事業規模比率」は、報告データの算定ミスにより増加しているが、実際の数値は例年とほとんど変化はない。

「⑤経費回収率」は、使用料収入を汚水処理費が上回っているため、一般会計繰入金率が増加している。この背景にも、H27年に委託費の計上見直しを行ったことがある。

「⑥汚水処理原価」は、類似団体と同程度まで増加した。この背景にも、H27年に委託費の計上見直しを行ったことがある。

「⑧水洗化率」は、近年大きな変化がなく、類似団体とも大きな差は見られないが、今後も水洗化率向上が必須である。

包括委託(水道・下水道)による維持管理の実施等により、経費の削減に努めている。また、町設置型の大型浄化槽の設置により料金収入が増加しており、H26から経営収入額が少し増加している。

2. 老朽化の状況について

浄化槽の設置年数に開きがあり、個々の老朽化に計画的に対応していかなければならない。

全体総括

使用単価(料金収入/有収水量)は、上昇しているが、それ以上に汚水処理原価上昇率が高くなっているため、「料金改定」の必要性があると考えられる。また、水洗化率向上に努めなければならないが、人口減少のため、急激な増加は見込めない。今回の決算統計で委託料の計上場所の変更に伴い、現実的な分析が可能となった。今後はH27年以降で比較していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。